

工事番号																(様式－１)	
市長		副市長		部長		課長		係長		精算者		設計者					
令和 7 年度 湖周地区最終処分場候補地検討に係る地質調査業務委託 閲覧設計書																	
諏訪市 大字湖南 7 8 3 8 番地付近																	
設 計 大 要									施 工 方 法				委 託				
地質調査業務 一般調査業務 機械ボーリング (L = 2 5 m) N = 1 箇所 標準貫入試験 N = 2 5 回 地下水調査 N = 1 孔 解析等調査業務 N = 1 式 解析調査									施 工 期 間				日 間				
									起工予定年月日				令和 年 月 日				
									竣工予定年月日				令和 年 月 日				
									契約保証方法								
									・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、L、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合があります。								

総括情報表

頁0-0002

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	42 3 諏訪 07.11.01		
	当 世 代		前 世 代
発注区分 消費税率 (%) 地域区分(地質調査安全費)	41 一般 10 % 01 率分計上無し		
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

地質・土質調査費

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
地質・土質調査費										
一般調査										
直接調査費				式						
機械ボーリング				式						
機械ボーリングφ66				式						
サウンディング及び原位置試験	1			箇所					工種	第0001号表
サウンディング及び原位置試験				式						
標準貫入試験 レキ混じり土砂	25			回					施工	第0 -0002号表
地下水調査				式						

＊＊地質・土質調査費＊＊

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
地下水水位測定										
	1			孔					施工	第0 -0003号表
地下水検層										
	1			孔					施工	第0 -0008号表
解析等調査										
				式						
直接業務費										
				式						
解析等調査										
				式						
機械ボーリング（計画準備）										
	1			業務					施工	第0 -0011号表
資料整理とりまとめ（直接調査費分） 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本										
	1			業務					施工	第0 -0012号表
断面図等の作成（直接調査費分） 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本										
	1			業務					施工	第0 -0013号表
直接経費										
				式						

地質・土質調査費

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接経費						
			式			
電子成果品作成費						
			式			
電子成果品作成費 機械ボーリング等市場単価						
直接調査費は成果品作成費・検定費を除く	1		式			施工 第0 -0014号表
直接調査費						
運搬費						
資機材運搬（トラック運転経費） 3～3. 5 t 積 2.9 t 吊						
			日			施工 第0 -0015号表
準備費						
準備及び跡片付け						
	1		業務			施工 第0 -0016号表
仮設費						

地質・土質調査費

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
足場仮設 平坦地足場 深度5 0 m以下 高さ0. 3 m以下										施工 第0 -0017号表	
		1		箇所							
施工管理費											
施工管理費(出来高及び工程管理写真等)										施工 第0 -0018号表	
	直接調査費は地盤情報DB検定費を除く	1		式							
間接調査費											
純調査費											
諸経費											
調査業務価格計											
消費税等 相当額計											
調査業務費計											

工 種 明 細 表

工種 第0001号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土質ボーリング オールコアボーリング φ66mm レキ混じり土砂 鉛直下方						
		25	m			施工 第0 -0001号表
*** 単位当り ***						
		1	箇所			

施工内訳表

頁0-0008

土質ボーリング

オールコアボーリング φ 6 6 mm

レキ混じり土砂 鉛直下方

施工 第0 -0001号表

1 m 当り

[illegible]

市 訪 諏

施 工 内 訳 表

頁0-0009

施工 第0 -0002号表

1 回 当り

標準貫入試験
レキ混じり土砂

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
標準貫入試験 レキ混じり土砂	1.000	回			
*** 単位当り ***	1	回			
土質区分：レキ混じり土砂					

地下水位測定

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0003号表

頁0-0010

1 孔 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設置	1.000	孔			施工 第0-0004号表
観測	3.000	回			施工 第0-0005号表
資料整理	3.000	回			施工 第0-0006号表
撤去	1.000	孔			施工 第0-0007号表
*** 単位当り ***	1	孔			
設置の有無：設置あり 観測 1 回当り地下水位計供用日数（日／回）：30 撤去の有無：撤去あり			観測回数（回／孔）なし＝0：3 資料整理（観測）回数（回／孔）なし＝0：3		

設置

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0004号表

1 孔 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地質調査技師		人			外業
主任地質調査員		人			外業
地質調査員		人			外業
材料費		%			(人件費) × 率
*** 単位当り ***	1	孔			
作業区分：設置					

観測

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0005号表

1 回 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任地質調査員		人			外業
地質調査員		人			外業
雑品		%			(人件費) × 率
地下水位計損料		日			
1 回当り換算		回			
*** 単位当り ***	1	回			
作業区分：観測			観測 1 回当り地下水位計供用日数 (日／回)：30		

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任地質調査員		人			内業
雑品		%			(人件費) × 率
1 回当り換算		回			
*** 単位当り ***	1	回			
作業区分：資料整理					

撤去

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0007号表

1 孔 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地質調査技師		人			外業
主任地質調査員		人			外業
地質調査員		人			外業
*** 単位当り ***	1	孔			
作業区分：撤去					

施 工 内 訳 表

1 孔 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
観測 深度30m以内	1	孔			施工 第0-0009号表
観測 深度30m以内	1	孔			施工 第0-0010号表
*** 単位当り ***	1	孔			

観測
深度30m以内

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0009号表

頁0-0016

1 孔 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地質調査技師		人			
地質調査員		人			
材料費（検層コード・消耗品）		%			直接人件費×率
測定器損料		%			直接人件費×率
*** 単位当り ***	1	孔			

観測
深度30m以内

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0010号表

頁0-0017

1 孔 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A）		人			
技師（B）		人			
技術員		人			
材料費（消耗品）		%			直接人件費×率
*** 単位当り ***	1	孔			

施 工 内 訳 表

1

業務 当り
考

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備
主任技師		人			
技師（A）		人			
技師（B）		人			
技師（C）		人			
*** 単位当り ***	1	業務			

施工内訳表

頁0-0019

資料整理とりまとめ（直接調査費分）

土質ボーリング1本

岩盤ボーリング0本

施工 第0 -0012号表

1

業務 当り

[illegible]

市 訪 諏

施工内訳表

頁0-0020

断面図等の作成（直接調査費分）

土質ボーリング1本

岩盤ボーリング0本

施工 第0 -0013号表

1

業務 当り

[illegible]

市 訪 諏

施工内訳表

頁0-0021

電子成果品作成費

機械ボーリング等市場単価

施工 第0 -0014号表

直接調査費は成果品作成費・検定費を除く

1 式 当り

[illegible]

市 訪 諏

施 工 内 訳 表

頁0-0022

資機材運搬（トラック運転経費）

施工 第0 -0015号表

3～3.5t積 2.9t吊

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油		L			
運転手（特殊）		人			
トラック〔クレーン装置付〕 運転時間当り損料 3～3.5t積 2.9t吊		時間			
トラック〔クレーン装置付〕 供用日当り損料 3～3.5t車 2.9t吊		日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			

準備及び跡片付け

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0016号表

1 業務 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
準備及び跡片付け	1.000	業務			
*** 単位当り ***	1	業務			

施工内訳表

頁0-0024

足場仮設

平坦地足場 深度50m以下

高さ 0.3 m以下

施工 第0 -0017号表

1

箇所 当り

[illegible]

市 訪 諏

施工管理費(出来高及び工程管理写真等)

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0018号表

頁0-0025

直接調査費は地盤情報DB検定費を除く

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
出来形管理費等	1.000	式			
*** 単位当り ***	1	式			
弾性波探業務の計上：無し			直接調査費（円）：		

総括情報表

頁0-0001

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日	42 3 諏訪 07.11.01		
	当 世 代		前 世 代
設計委託区分 消費税率（%） 発注区分 電子成果品作成費区分	01 設計・解析(技術経費無) 10 % 41 一般(建設コンサルタント) 04 率分計上なし		
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

地質・土質調査費（技術解析）

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
地質・土質調査費（技術解析）										
解析等調査										
直接業務費				式						
解析等調査				式						
既存資料の収集・現地調査 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本 電子成果品作成費対象外	1			業務					施工	第0 -0001号表
資料整理とりまとめ（解析等調査業務費分） 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本 電子成果品作成費対象外	1			業務					施工	第0 -0002号表
断面図等の作成（解析等調査業務費分） 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本 電子成果品作成費対象外	1			業務					施工	第0 -0003号表
総合解析とりまとめ 試験種目 0～3種 土質Bo 1本 岩盤Bo 0本 電子成果品作成費対象外	1			業務					施工	第0 -0004号表
打合せ				式						

地質・土質調査費（技術解析）

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
打合せ											
					式						
打合せ協議											
					式						
打合せ（地質調査業務） 中間打合せ1回											
		1			業務					施工	第0 -0005号表
直接人件費等											
直接原価											
その他原価											
設計業務原価											
一般管理費等											
設計業務価格計											

地質・土質調査費（技術解析）

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
消費税等 相当額計										
設計業務費計										

施工内訳表

頁0-0005

既存資料の収集・現地調査

土質ボーリング1本

岩盤ボーリング0本

電子成果品作成費対象外

施工 第0 -0001号表

1

業務 当り

[illegible]

市 訪 諏

施工 第0 -0002号表

岩盤ボーリング0本

電子成果品作成費対象外

1

業務 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

断面図等の作成（解析等調査業務費分）

施工 第0 -0003号表

土質ボーリング1本

岩盤ボーリング0本

電子成果品作成費対象外

1

業務 当り
考

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面図等の作成 直接人件費（解析等調査業務費分）	1.000	業務			
*** 単位当り ***	1	業務			
土質ボーリング本数（本）：1			岩盤ボーリング本数（本）：0		

施工内訳表

頁0-0008

総合解析とりまとめ

試験種目 0～3種

土質Bo 1 本

岩盤Bo 0本

電子成果品作成費対象外

施工 第0 -0004号表

1

業務 当り

[illegible]

市 訪 諏

施 工 内 訳 表

頁0-0009

打合せ（地質調査業務）

施工 第0 -0005号表

中間打合せ1回

1

業務 当り
考

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師		人			内業
技師（A）		人			内業
技師（B）		人			内業
*** 単位当り ***	1	業務			
中間打合せ回数（回）：1					

令和 7 年度 湖周地区最終処分場候補地検討に
係る地質調査業務委託

特 記 仕 様 書

令和 7 年 11 月

諏 訪 市

第1章 総 則

1. 業務の目的

本業務は、湖周行政事務組合が計画している一般廃棄物最終処分場の候補地を検討するにあたり、地質調査を行うものである。

2. 適用の範囲

本特記仕様書は、「令和 7 年度 湖周地区最終処分場候補地検討に係る地質調査業務委託」に適用する。

3. 業務管理

受注者は委託契約書、設計図書、本特記仕様書、業務委託共通仕様書(諏訪市建設課)、設計・測量・調査業務委託関係集(長野県土木部)、全国標準積算資料(土質調査・地質調査)(全国地質調査協会連合会)、業務打ち合わせ書及び関係法規を尊重し、必要な事項について監督員と十分協議し、正確に施行しなければならない。

4. 業務概要

本業務の内容及び範囲については、「第2章 業務の内容」による。

5. 対象事業の概要

- | | |
|---------|---|
| 1) 施設種類 | 一般廃棄物最終処分場 |
| 2) 名 称 | 湖周地区最終処分場整備事業 |
| 3) 位 置 | 諏訪市大字湖南北真志野 7838 番地付近 |
| 4) 規 模 | 埋立容量 30,000m ³ (予定)、用地面積 20,000m ² (予定) |

6. 履行期間

本委託の履行期間は、契約締結の日から令和 8 年 3 月 27 日までとする。

7. 業務計画書の作成

受注者は、業務に先立ち業務計画書を作成し、監督員に提出すること。

8. 関係法令の遵守

受注者は、業務の実施にあたり関連する法令を遵守しなければならない。

9. 秘密及び中立性の保持

受注者は、本業務において知り得た事項について第三者に漏らしてはならない。また、コンサルタントとして中立を遵守しなければならない。

10. 貸与資料

本業務の遂行に必要な関係資料(事業計画に係る資料、図面等)を受注者に貸与するが、この場合、受注者は貸与を受けた資料の一覧を作成のうえ監督員に提出し、業務終了後速やかに返却するものとする。

以下の既存資料を貸与可能であるため、業務に活用すること。

- ・諏訪湖スマートインターチェンジ整備事業に係る地質調査他 1.0 式

11. 関係機関との協議

受注者は、関係機関との協議が必要な時又は協議を求められた時は、誠意を持ってあたり、協議内容を記録した打合せ記録簿に關係資料を添えて監督員に報告しなければならない。

12. 業務内容の変更

業務の実施に際し、業務内容の変更もしくは当該業務以外の業務の必要が生じた場合は、その段階で監督員とその対応について協議するものとする。その際に必要な資料は受注者が作成する。

13. 土地への立入り等

受注者は、業務を実施するため公有地または私有地に立ち入る場合は、次の事項に留意しなければならない。

- ①土地の立ち入りにあたっては、立入範囲及び時期等、あらかじめ監督員と打合せし、了解を得なければならない。
- ②現地踏査等における立木等の伐採及び踏み荒らし等には十分注意し、極力なくすよう努めなければならない。
- ③監督員が認めた場合以外でむやみに障害物を伐採損傷等した場合は、受注者の責任においてこれを処理すること。
- ④本業務の実施にあたり支障となる立木等については、受注者の責任において伐除するものとする。
- ⑤第三者に損害を与える恐れのないよう、予め監督員と細部にわたり打合せを行い、事故やトラブル防止に努めること。なお、第三者に損害を与えた時は、受注者において解決すること。

14. 議事録

本業務についての打合せ及び協議事項は、その都度議事録を作成し提出すること。

15. 成果品の審査

受注者は、成果品提出後に審査を受けなければならない。成果品の検査において、訂正を指摘された箇所はただちに訂正しなければならない。

16. 引き渡し及び成果品の瑕疵

成果品の検査に合格後、本仕様書に指定された提出図書一式を納入し、検査合格をもって業務の完了とする。業務の完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務の瑕疵による不良個所が発見された場合は、発注者が必要と認める改善の処置を、受注者の負担で、ただちに修正を行わなければならない。

17. 成果品の帰属

本業務により作成した成果品等の著作権は、発注者に帰属する。受注者は、発注者の許可なく成果品等の複製並びに、他者に貸与してはならない。

18. 下請負

受注者は、業務の一部を下請負に付すことを予定している場合は、予定している下請負業社名、下請範囲及び概算金額を明示した下請負予定表を事前に監督員に提出しなければならない。なお、下請負予定表に大きな変更又は追加の必要が生じた場合は、その都度監督員に提出しなければならない。

19. 疑義

本特記仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。

第2章 業務の内容

1. 業務範囲

業務範囲は、諏訪市大字湖南北真志野(位置図参照)とする。

2. 業務内容

	業 務 内 容
調査業務	一般調査 機械ボーリング 土質ボーリング L = 2 5 m N = 1 箇所 オールコアボーリング φ 6 6 m m レキ混じり土砂 鉛直下方 サウンディング及び原位置試験 標準貫入試験（レキ混じり土砂） N = 2 5 回 地下水調査 地下水位測定 N = 1 孔（測定回数3回） 地下水位検層 N = 1 孔 解析等調査 計画準備 1 業務 資料整理とりまとめ 1 業務 土質ボーリング 1 本 断面図等の作成 1 業務 土質ボーリング 1 本
調査業務 (技術解析)	解析等調査 既存資料の収集・現地調査 1 業務 土質ボーリング 1 本（電子成果品作成費対象外） 資料整理とりまとめ 1 業務 土質ボーリング 1 本（電子成果品作成費対象外） 断面図等の作成 1 業務 土質ボーリング 1 本（電子成果品作成費対象外） 総合解析とりまとめ 1 業務 土質ボーリング 1 本（電子成果品作成費対象外） 打合せ 打合せ協議 1 式 打合せ（中間打合せ1回）

(1) 機械ボーリング

- 1) 機械ボーリングは、主として土質及び岩盤を調査し、地質構造や地下水位を確認するとともに、必要に応じて試料を採取し、あわせて原位置試験を実施するために行う

ことを目的とする。

- 2) 機械ボーリングはコア式ボーリングとする。
- 3) ボーリング機械は、回転式ボーリング機械を使用するものとし、所定の方向、深度に対して十分余裕ある能力を持つものであること。
- 4) ボーリング位置、方向、深度、口径及び数量については、設計図書によるものとする。
- 5) 現地におけるボーリング位置の決定は、地形・地表地質調査の結果に基づき適切に判断するとともに、原則として監督員立会いの上行うものとし、後日調査位置の確認ができるようにしなければならない。
- 6) 足場、やぐら等は作業完了まで資機材類を安定かつ効率的な作業が行える状態に据え付けるとともに、試験器具類を正しく孔の中央に入れ得るよう安全かつ使いやすい位置に配置し、ボーリングや原位置試験等に要する作業空間を良好に確保するように設置しなければならない。
- 7) 掘進
 - ①掘削は支持地盤が確認できる深さまで原則として無水掘とする。
 - ②孔口は、ケーシングパイプ又はドライブパイプで保護すること。
 - ③崩壊性の地質に邁進して掘削が不可能になる恐れがある場合は、泥水の使用若しくはケーシングパイプの挿入により孔壁の崩壊を防止しなければならない。
 - ④原位置試験、サンプリングの場合は、それに先立ち孔底のスライムをよく除去すること。
 - ⑤掘進中は掘進速度、湧排水量、スライムの状態等に注意し、変化の状況を記録しなければならない。
 - ⑥未固結土コアボーリングを行う場合は、土質及び締まり具合に応じたサンプラーを用い、採取率を高めるように努めなければならない。
 - ⑦岩盤ボーリングを行う場合は、原則としてダブルコアチューブを用いるものとし、コアチューブの種類は岩質に応じて適宜使い分けること。
 - ⑧コアチューブはコアの採取ごとに水洗いして、残渣を完全に除去しなければならない。
 - ⑨掘進中は孔曲がりのないよう留意し、岩質、割れ目、湧水、断層破碎帯、湧水漏水等に十分注意しなければならない。特に湧水については、その量のほか必要があれば水位（被圧水ヘッド）を測定すること。
 - ⑩孔内水位は毎作業日、作業開始前と作業終了時に観測し、日報に記載すること。
- 8) ボーリング施工中は次に示す掘進状況等を記入した作業日報を毎日作成する。
 - ①掘進状況
 - ②孔内の状況、特に崩壊、孔曲がり、漏水等の起こった位置とその状況及びその量
 - ③地層の変わり目、岩質、土質、毎日のコア採取率、化石、亀裂の有無、ガスの含有等
 - ④毎日の作業開始前後の孔内水位
 - ⑤硬軟の程度、色調を記載し、礫などがある場合は、その大きさと位置

- ⑥排水色とスライムの粒度
- ⑦送水量、掘進圧とその変化
- ⑧ベントナイトを使用した場合の量
- ⑨ケーシングの挿入長
- ⑩その他

9) 検尺

- ①予定深度の掘進を完了する以前に調査の目的を達した場合、又は予定深度の掘進を完了しても調査の目的を達しない場合は、監督員と協議すること。
- ②ボーリング延長の検測は、調査目的を終了後、原則として監督員立会いの上、ロッドを挿入して行うこと。

10) コアの採取

- ①コアの採取率は100%を原則とする。
- ②100%未満の場合は、原因を調査して採取率の向上に努めなければならない。著しく低下した場合は、理由書を提出して監督員の指示を受けること。

11) コアの観察

- ①土質の分類は土木工学会の日本統一土質分類による。
- ②採取されたコアの判定は、付近の地質状況を加味して行い、コアを裁断して裁断面の観察によって判断すること。

(2) 標準貫入試験

- 1) 標準貫入試験は、原位置試験における土の硬軟や締まり具合の相対値(N値)を知ることが目的とする。
- 2) 試験方法及び器具は、JIS A1219(標準貫入試験方法)による。
 - ①試験の開始深度は監督員と協議の上決定すること。
 - ②試験は、原則として1mごとに実施すること。ただしサンプリングする深度、本試験が影響すると考えられる原位置試験深度はこの限りではない。
 - ③打ち込み完了後ロッドは1回転以上してからサンプラーを静かに引き上げること。
 - ④サンプラーの内容物は、スライムの有無を確認して採取長を測定し、土質・色調、混入物等を記録した後に保存すること。

(3) 地下水調査

1) 地下水位観測

地下水の位置の変動を監視するために、ボーリング孔内の水位を観測するもので、調査方法はJGS 1312(観測井による砂質・礫質地盤の地下水位測定方法)による。調査回数は3回(1回/月)を見込んでいる。

2) 地下水検層

ボーリング孔にトレーサー(地下水と電気抵抗あるいは温度の異なる水)を投入し、地下水の流動箇所ではトレーサーが希釈されることにより電気抵抗又は温度が変化することを利用して、地下水の流動体の有無とその深度を検知するもので、調査方法はJGS 1317(トレーサーによる地下水流動層検層方法)による。

(4) 解析等調査

- 1) 対象地域の地形・地質・地表水・地下水・災害・工事履歴等に関する既存資料を収集・整理すること。
 - 2) 現地踏査により、地表で見られる自然地形・改変地形、岩石や地層の性状を観察し、調査地域の地層分布や地質構造、更に地山の安定性、地表水・地下水の状況などの広範囲な地質に関する諸情報を把握するとともに、地下水流動調査実施範囲・方法の提案をすること。
 - 3) 調査地域内を踏査して、既往資料・地形図で得られた軟弱地盤、土石流堆積地、断層地形、地すべり等の地形的な特徴・性状を観察すること。
 - 4) 現地調査の際には、地質に関する既往資料・地形図などにより人工構造物・改変地形の状況、広域的な地質情報を把握しておくとともに、岩石・地層の分布、地質構造、断層破碎帯、風化、変質、地山の安定性、地表水・地下等の状況を詳細に観察すること。
 - 5) 観察結果を踏査経路、観察地点、写真撮影地点、資料採取地点等を地形図に記入してルートマップを作成し、地形の形成過程・地質状況の検討も含めて地質平面図、地質断面図にとりまとめること。
- (5) 打合せ
- 1) 地質調査業務に関する打合せは、着手時 1 回、中間打合せ 1 回、業務完了時 1 回の計 3 回を予定している。
 - 2) 着手時及び完成時は管理技術者が立ち会うこと。
 - 3) 打合せ後、打合せ事項について議事録を作成し、監督職員に提出し相互に確認・承諾を得ること。
 - 4) 新たな業務の追加が無い限り打合せ協議回数は変更しない。また、各作業段階での確認、随時打合せ等はこれらに含まれるものとし、変更対象としない。
3. 提出成果品
- (1) 下記の成果品を提出するものとする。なお、成果品はあらかじめ監督員と内容について協議、精査すること。
- ・ 調査報告書（中間報告含む）
 - 1) 調査位置案内図、調査位置平面図、ルートマップ、地質平面図、土質又は地質（推定）断面図（着色を含む）、露頭写真その他各種図面類
 - 2) ボーリング柱状図

作業時の記録及びコアの観察によって得た事項は、地質・土質調査成果電子納品要領（国土交通省・平成 28 年 10 月）に従い柱状図に整理し提出すること。
 - 3) コア標本

採取したコアは標本箱に収納し、調査件名、孔番号、深度等を記入し提出しなければならない。なお、未固結の試料は 1m 毎又は土層毎に標本ビンに密封して収納すること。
 - 4) コア写真

コア写真は、調査件名、孔番号、深度等を明示するほか、色調の判断できる色表示板（標準色）等設置して撮影（カラー）し、整理すること。
 - 5) 標準貫入試験結果

標準貫入試験結果及び保存試料は、JIS A1219 及び地質・土質調査成果電子納品要領（国土交通省・平成 28 年 10 月）に従って整理し、提出すること。

6) 地下水調査

業務の目的を踏まえ、業務の段階で作成された成果を基に、業務の方法、検討過程、結論について記した報告書を作成すること。

7) 調査結果のまとめ

地層構成、地下水、基礎（支持地盤、地盤支持力等）、その他必要な事項

8) その他

その他関係書類はすべて提出すること。

(2) 提出図面

1) 図面を提出する場合は、縮尺は監督員が指示した縮尺とし、原図の大きさは、A 版を基準とする。（縮尺表示は A1、A3 を併記する）

2) 原図のデータを SXF (P21) 及び JWW 形式で CD-ROM または DVD-ROM にて提出すること。

3) 各図面には、すべて右端下へ監督員指示による表題欄を設け、受注者名及び担当者名を明記すること。

業務委託共通仕様書

令和6年4月1日

諏訪市建設課

1 目的

この仕様書は諏訪市建設課（以下「発注者」という。）が発注する土木一般工事等に関する測量・設計・調査業務（以下「業務」という。）の適正な履行を図るために仕様等を示すものである。

2 用語の定義

この仕様書において使用する用語は、設計・測量・調査業務委託関係集の共通仕様書等（長野県建設部）最新版（以下「一般仕様書」という。）に準ずるものとする。

3 適用範囲

- （１）業務の共通事項は、一般仕様書によるものとする。
- （２）この仕様書と一般仕様書が競合する事項については、この仕様書の定めるところによるものとする。
- （３）設計図書及び特記仕様書に記載された事項は、この仕様書に優先して適用されるものとする。
- （４）その他、必要な事項については、監督員と十分協議しなければならない。

4 適用資料

主要技術基準及び参考図書は、一般仕様書に記載されたものを標準とし、それ以外に使用した参考図書等については出典を明確にし、整理をすること。

5 成果品

- （１）成果品は２部提出を標準とし、電子記憶媒体（ＣＤ等）の提出も行う。電子記憶媒体においては、j w C A D（または、S X F（P 2 1））及びワードやエクセル（マイクロソフト）を標準とする。
- （２）図面は、一般仕様書 IVその他（３）報告書の作成要領 第6節（図面の大きさ）に準じ、A－1を標準とする。また、1／8折りとし、設計（該当）箇所を赤着色する。
- （３）位置図は、設計（該当）箇所を旗立て表示をする。
- （４）平面図及び測量図には基準点を明記し、座標一覧表を添付すること。
- （５）提出資料に別紙提出図書一覧表を添付すること。
- （６）業務完了後においても、成果品に不備が確認された場合は、受注者の責任において速やかに必要な処置を行わなければならない。

6 その他

- （１）境界については、過去の記録などを精査し、必要があれば立会いをすること。
- （２）地下埋設物等については、必ず資料等の確認を行い、業務に反映させること。
- （３）基準点は世界測地系座標を使用すること。ただし、近接に当座標がない場合は永久構造物に設けることを原則とし、将来復元できること。

位置図

1/10,000

委託名：令和7年度 湖周地区最終処分場候補地検討に係る地質調査業務委託

委託箇所：諏訪市 大字湖南北真志野 地内

現地調査範囲
(約0.032km²)

委託箇所

